

MAIL MAGAZINE

メールマガジン

インド銀河 ATP（白銀河）今年もイチ押しです！

JSC 貿易部ニュース インド編

春はまだまだ浅く、朝夕は冷え込む今日この頃ですが、皆様におかれましては、ご健勝のことと存じます。平素より格別のご高配を賜り、心より感謝致しております。

今月は世界情勢のお話から。

先月2月24日、ロシアがついにウクライナに侵攻しました。全世界に衝撃が走ったニュースです。アメリカやNATO加盟国は一斉に非難声明を発表するとともに、ロシアへの制裁措置を発表しました。日本政府も追随、ロシアへの制裁措置に踏み切るという動きがありました。

日本でも連日報道されていますが、普段は日本のニュースしか目にする事が出来ない私たち。この問題、インドではどのように報道されているのか見てみたいと思います。

そもそも、インドは日本や西側諸国のように立ち位置が明確ではありません。



というのも、インドは対中包囲網の意味合いが強い「クアッド」（日本、アメリカ、オーストラリア、インドの四か国で安全保障や経済を協議する枠組み）の一員ではありますが、旧ソ連時代から軍事面でロシアとの関係も濃く、2016年から2020年のインド武器購入先の約半分もロシアです。

昨年も軍事科学技術等の連携強化で両国一致しています。中国との関係が悪化する中、軍備の増強が必要なので、ロシアとの関係も切り離せないのがインドの事情です。



そんな状況の中で、2月25日のインドの「ザ、インディアンエクスプレス」の記事を見ると…



「ロシアとウクライナの緊張は地域紛争であり、グローバルではない・・・デリー（インド政府）はロシアと通常の間係を続けるべきだ」とありました。

写真自体は西側諸国の反プーチン・デモのものかと思われませんが、記事の内容自体は逆にロシア側に気を使った報道です。

しかし、別の記事では、以前のインドのモディ首相とロシアのプーチン大統領の会談写真を掲載し、二人の電話会談の様子を報じております。

記事の見出しには・・・



「ロシアがウクライナを攻撃:モディ首相はプーチン大統領に暴力の即時停止を訴えた。」とありました。

これは先ほどとは反対に、西側諸国に気を使ったモディ首相の動きとそれを報じる報道でした。

インドのメディアでは、ロシア、西側諸国のどちらにも配慮した報道が展開されているようです。

インドのパートナーに、この記事とインドの立ち位置について意見を聞くと

「インドはいつも中立、そしてこれからも中立です！！」とのこと。

ロシアとウクライナの問題に関しては、様々な背景や各国それぞれの思惑もあり非常に複雑ですが、民間人に被害が出ないこと、事態が悪化せず早期解決に向かうことを心より望むばかりです。

さて今月の石のお話です!

当メルマガでも度々ご紹介してきました JSC 貿易部、イチ押しの「銀河 ATP（白銀河）」ですが、昨年、一昨年と年を追うごとに取扱量が増えてきております。

コロナの影響もあり、業界的には石材の総取扱量も減少傾向にありますが、当社では、この「銀河 ATP」の取扱量、なんと前年比で約 2 倍に増えております。当石種の人気や安定性を裏付ける数字でございます。

2 月末、これまで購入していなかった中国の取引工場からも新規の原石注文を頂きました。



これもひとえに当メルマガをご覧頂いている皆様のおかげでございます。
感謝申し上げます m(__)m



不安定な丁場が多い中、「銀河 ATP」は現在も継続して安定的に採掘しています。
そして、オンシーズンに向けて新たな「銀河 ATP」の原石も海上輸送中です。

「銀河 ATP」 今年も一押しです！



まだお使いになられてない石材店様がいらっしゃいましたら、是非一度お使いくださいませ。

サンプルのご依頼は、当社営業員にお申し付けください。すぐにご用意致します！

それでは、今月も最後までお読みいただきありがとうございました。

早春の息吹を感じる昨今、どうぞお健やかに
お過ごしくださいませ。

2022/03/01